

(財)日本ハンドボール協会公式記録用紙

スローオフ

B

A	法政大学第二高等学校	県立香川中央高等学校	B
---	------------	------------	---

32	14	—	17	27
	18	—	10	
7mTC				

A 阿部直人 河合哲 B

大会名	平成23年度第35回 全国高等学校ハンドボール選抜大会
-----	--------------------------------

平成24年3月26日(月)	場所	岩手県花巻市 花巻市総合体育館
---------------	----	--------------------

種別	高校男子	回戦	第2回戦
----	------	----	------

A 法政大学第二高等学校	警 告	退 場	失 ・ 追	チームタイムアウト		計
				前半	後半	
役員A 阿部直人				23 : 15		
役員B 高橋良一						
役員C 森川利昭				得点		
役員D 藤田悠也				前半	後半	延1
1 小林航大						
2 石川雄貴						
3 竹野恭平						
4 広瀬大志						
5 松本光也				4		4
6 内野政寛						
7 小嶋力椰				1	3	4
8 重松毅平				1	4	5
9 曾根涼平				3		3
10 谷田徹				3	1	4
11 番場雄大				1		1
12 飛知和龍						
13 下條輝磨				1		1
14 田中志磨				4	6	10
合計	3	2	0	14	18	32

B 県立香川中央高等学校	警 告	退 場	失 ・ 追	チームタイムアウト		計
				前半	後半	
役員A 河合哲				: 24 : 57		
役員B 植松朋子						
役員C 堀井陵矢				得点		
役員D 岡野祐弥				前半	後半	延1
1 出原魁斗						
2 西山尚希				4	2	6
3 香川壮次郎						
4 谷本圭三				3	2	5
5 平木梅太郎				2	1	3
6 須田涼太						
7 横野拳太						
8 安藤孝敦				1		1
9 久保唯教				1		1
10 植松竜也				3	1	4
11 竹内厚人					3	3
12 北岡太貴						
13 黒川拓留				3	1	4
14 國方悠平						
合計	3	4	0	17	10	27

タイムキーパー	中島航
スコアラ	千田千夏
マッチバイザー	大房重則
審判	中館豊
審判	多田和生

A		前半		B	
背番	結果	得点	時間	得点	結果
		0	40	1	10
		1	48	2	5
14	○	1	24	W	9
		3	13	3	5
		3	56	W	11
14		2	06		
13		3	24		
		5	08	4	13
11		4	27	S	11
8	W		00	5	8
14		5	30	W	5
13	W		03	6	13
			40	7	9
			03	8	2
10		6	30		
14	W		26	9	○ 13
10		7	53		
			32	10	4
9		8	52		
			39	11	2
7		9	05		
9		10	25		
			42	12	10
			04	13	4
			11	14	2
			11	15	2
T			15		
8		11	00		
			30	16	4
10		12	00		
14		13	15		
9		14	03		
			34	17	10

14	-	17
----	---	----

A		後半		B	
背番	結果	得点	時間	得点	結果
10		15	30		
		0	52	18	11
8		16	13		
			30	S	4
8		17	44		
			24	19	11
5		18	07		
14		19	15		
			39	20	○ 11
5		20	11		
14	○	21	51	S	3
			35	21	13
14		22	01		
9	S		00		
			00	22	10
14		23	46		
			51	23	4
7		24	25		
			15	×	13
5		25	34		
			55	24	2
8		26	22		
14		27	05		
			54	25	2
7		28	21		
			19	26	4
7		29	50	S	3
14		30	56		
			57	T	
			07	27	5
8		31	30		
8	S		13		
5		32	05		

32	-	27
----	---	----

結果欄略号

W - 警告	○ - 7Mスロー得点
S - 退場	× - 7Mスロー失敗
D - 失格	T - チームタイムアウト
E - 追放	

戦評 (記入者)	序盤から両チームの特色を出し合い、点の取り合いが続くも法政は香川のスピードとパワーに圧倒され点差がひらく。しかし、終盤には、法政のGKがナイスセーブを連発し、前半を香川中央が3点リードで終わった。後半に入ると法政14番田中の的確な判断・対応・指示により追い上げる。香川は、懸命に反撃するもミスが目立ち、最後まで集中力を切らさなかった法政大学第二が勝利した。(中島航)
-------------	---